

《申告書類の書き方》

① 償却資産申告書(償却資産課税台帳) (緑色)

- (1) 「1住所～18備考(添付書類等)」までを記入のうえ、申告してください。
住所・氏名・取得価額等に修正がある場合は、正しく記入してください。
- (2) 増減や修正が無い場合は、「18備考(添付書類等)」欄、「2. 資産増減なし」を○で囲んでください。
- (3) 該当する資産のない場合は、「18備考(添付書類等)」欄、「3. 該当資産なし」を○で囲んでください。
廃業・解散・事業所等を市外へ移転された場合などは「4. その他」を○で囲み、詳細を記入してください。

令和6年度 記入例 償却資産申告書(償却資産課税台帳)

マイナンバーまたは法人番号の記載が必要です。

令和6年1月11日 燕市長様

所有者コード 0000000001

1 住所 (ふりがな) 959-0295 にいがたけんつばめしよだにしおおた 又は納税通知書送達先 新潟県燕市吉田西太田1934番地	3 個人番号又は法人番号 111111111111111111	8 短縮耐用年数の承認 有・ <input checked="" type="radio"/>	9 増加償却の届出 有・ <input checked="" type="radio"/>
2 氏名 (ふりがな) つばめせいさくしよ 法人にあつてはその名称及び代表者の氏名 (株) 燕製作所様 代表取締役 白山太郎	4 事業種目 (資本等の金額) 金属洋食器製造 (10百万円) 事業開始年月 昭和48年6月	10 非課税該当資産 有・ <input checked="" type="radio"/>	11 課税標準の特例 有・ <input checked="" type="radio"/>
資産の種類	取得価額	減価償却額	課税標準額
1 構築物	2,083,600		2,083,600
2 機械及び器具	6,850,000	600,000	6,250,000
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具	510,000	232,780	742,780
6 工具、器具及び備品	124,000	24,000	410,000
7 合計	9,567,600	624,000	9,486,380

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
① 燕市吉田西太田1934番地
② 燕市水道町6丁目6-6
市内における事業所等資産の所在地を記入してください。2ヶ所以上ある場合は、主たる番号を○で囲んでください。

16 借用資産 (無) 貸主の名称等 燕市リース(株)

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家

18 備考(添付書類等)
※該当する項目に○をつけてください。
① 資産増減あり ② 資産増減なし ③ 該当資産なし
4. その他(詳細を記入ください):
※ 登録されている資産内容に変更がある場合は「1」、変更がない場合は「2」、該当する資産がない場合は「3」に○をつけてください。
※ 住所移転、廃業、その他の異動については「4」に○をつけ、詳細を記入してください。

※市で計算しますので、記入する必要はありません。ただし、自社の電算処理により全資産申告をされる方は記入してください。

「取得価額」欄について

- ① 「前年前に取得したもの(イ)」
 - 令和5年1月1日現在の資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。
 - 印刷されている金額に修正がある場合は、傍線を引いて正しい金額を記入してください。
- ② 「前年中に減少したもの(ロ)」
 - 令和5年1月2日～令和6年1月1日までに減少した資産の取得価額の合計を、種類別に記入してください。
- ③ 「前年中に取得したもの(ハ)」
 - 令和5年1月2日～令和6年1月1日までに取得した資産の取得価額の合計を、種類別に記入してください。
- ④ 「計(ニ)」には、令和6年1月1日現在の資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。
- ⑤ (ホ)～(ト)は、市で計算しますので、記入する必要はありません。ただし、自社の電算処理により全資産申告をされる方は記入してください。

※以前より事業を行っている方で「前年前に取得したもの(イ)」の欄が空欄である場合

令和5年度の申告において「該当資産なし」の申告をした方(償却資産課税台帳に資産の登録がない方)などは、「前年前に取得したもの(イ)」の欄が空欄になっています。申告し忘れていた資産がある場合は必ず申告してください。

② 償却資産種類別明細書（減少・修正資産用）（赤色）

- (1) 令和5年中に売却、滅失、または他へ移動した資産があった場合、該当資産の「資産の名称、数量、取得年月、耐用年数、取得価額」を朱線で消してください。
修正の場合は、正しく記入してください。
- (2) 「提出用①・②」を、償却資産申告書（償却資産課税台帳）に添えて提出してください。

燕市 前年度の資産 令和5年1月1日現在

償却資産種類別明細書(減少・修正資産用) 耐用年数を変更する場合は、横線を引き、上段に記入してください。

行	種類	資産コード	資産の名称・規格・型式	数量	取得年月			耐用年数	取得価額 円	特例 非課税	減少の事由及び区分
					年	月	日				
1	1	10550019	コウコトウ	1	3	54	04	20	400,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
2	1	10620017	アスファルトコウジ	1	3	61	12	10	1,350,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
3	1	10030015	フェンスコウジ	1	4	02	7	10	333,600		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
4	2	10610013	ヘイメンケンサクハン	1	3	60	1	10	3,500,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
5	2	10020011	110トンプレス	1	4	01	12	11	2,750,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
6	2	10580010	ケンマキ	1	3	57	01	11	600,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
7	5	10060018	台車	1	4	25	06	4	510,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
8	6	10010016	転送電話機	2	4	21	01	10	124,000		1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											

所有者名: 株式会社 燕製作所

提出用①

ページ

注1. 左記種類別明細書は電算処理による前年度資産の明細兼減少・修正資産用申告書です。

注2. 左記前年度資産中に全部減少の資産がある場合は、当該資産の名称、規格、型式から取得価額までを朱線で消し、減少の事由及び区分欄の当該番号と、1. 全部を○で囲んでください。

注3. 左記前年度資産中に一部減少の資産がある場合は、当該資産の減少分を差し引いた価額を記入し、減少の事由及び区分欄の当該番号と、2. 一部を○で囲んでください。

「減少の事由及び区分」は、必ず○で囲んでください。

減少の区分1「全部減少」の場合、朱線で「資産の名称・規格・型式」から「取得価額」までを消してください。

減少の区分2「一部減少」の場合、朱線で「数量」及び「取得価額」を消し、修正後の数量、取得価額を記入してください。

漢字、数字、ひらがな、カタカナ、アルファベット等を使用し、左詰めで記入してください。

減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1から別表第6まで(別表第3及び第4を除く)に掲げる耐用年数を記入してください。

1. 構築物
2. 機械及び装置
5. 車両及び運搬具
6. 工具、器具及び備品

1枚のうち1枚目というように、1ページ数を付けてください。

③ 種類別明細書（増加資産・全資産用）（緑色）

- (1) 「増加資産」もしくは「全資産用」のいずれかを○印で囲んでください。
初めて申告される場合は、「全資産用」を○印で囲んで、全資産を記入してください。
- (2) 令和5年中に新品取得、中古品取得及び移動により受け入れた資産があった場合には「所有者名、資産の種類、資産の名称等、数量、取得年月、取得価額、耐用年数、増加事由（該当番号に○）」の箇所を省略することなく記入してください。
- (3) 「提出用①・②」を、償却資産申告書（償却資産課税台帳）に添えて提出してください。

令和6年度

種類別明細書(増加資産・全資産用)

行 番号	資産コード	資産の名称等	数 量	取得年月			取得価額 (イ) 円	耐用年数 (ロ)	減価償却率 (ハ)	備 額 (ニ) 円	所有者名		1枚のうち 枚目
				年	月	日					十	万	
01	5	台車	1	4	5	4	232,780	4			株式会社 燕製作所	1	
02	6	応接セット	1	4	5	11	310,000	8			株式会社 燕製作所	1	
03													
04													
05													
06													
07													
08													
20													
		小計	2				542,780						

所有者名: 株式会社 燕製作所

1枚のうち1枚目というように、1ページ数を付けてください。

漢字、数字、ひらがな、カタカナ、アルファベット等を使用し、左詰めで記入してください。

減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1から別表第6まで(別表第3及び第4を除く)に掲げる耐用年数を記入してください。

1. 構築物
2. 機械及び装置
5. 車両及び運搬具
6. 工具、器具及び備品

注意 「取得年月」の年号の欄は、4. 平成、5. 令和のどちらかに○印を付けてください。
「増加事由」の欄は、1. 新品取得、2. 中古品取得、3. 移動による受入れ、4. その他のいずれかに○印を付けてください。